

## 2026年9月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年4月30日

上場会社名 株式会社キャリアデザインセンター 上場取引所 東  
 コード番号 2410 URL <https://cdc.type.jp/ir/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼会長 (氏名) 多田弘實  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 経営企画担当 (氏名) 西山裕 TEL 03-3560-1601  
 半期報告書提出予定日 2026年5月15日 配当支払開始予定日 未定  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年9月期第2四半期（中間期）の業績（2025年10月1日～2026年3月31日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年9月期中間期	9,320	3.0	708	12.3	717	12.0	489	12.0
2025年9月期中間期	9,052	3.5	630	△8.2	640	△7.0	437	△6.7

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年9月期中間期	92.95	—
2025年9月期中間期	83.45	—

(注) 「潜在株式調整後1株当たり中間純利益」については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年9月期中間期	7,468	4,654	62.3	880.42
2025年9月期	7,733	4,628	59.8	879.66

(参考) 自己資本 2026年9月期中間期 4,654百万円 2025年9月期 4,628百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年9月期	—	0.00	—	100.00	100.00
2026年9月期	—	0.00	—	—	—
2026年9月期（予想）	—	—	—	130.00	130.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2025年9月期期末配当の内訳 普通配当100円00銭

2026年9月期期末配当の内訳 普通配当130円00銭

配当予想の修正については、本日（2026年4月30日）公表いたしました「配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご覧ください。

### 3. 2026年9月期の業績予想（2025年10月1日～2026年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,000	7.3	1,890	19.4	1,900	18.4	1,272	15.6	242.32

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（中間期）

2026年9月期中間期	5,497,921株	2025年9月期	5,497,921株
2026年9月期中間期	211,294株	2025年9月期	236,336株
2026年9月期中間期	5,269,978株	2025年9月期中間期	5,238,464株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1.（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 中間財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 中間貸借対照表 .....	5
(2) 中間損益計算書 .....	7
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 中間財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等の注記) .....	9
(重要な後発事象) .....	9

## 1. 当中間決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当中間会計期間（2025年10月1日～2026年3月31日）における我が国経済において、日銀短観（2026年3月調査）では、大企業・製造業の景況感は改善傾向を示した一方で、原油価格の高騰や関税の影響、急激な円安の進行等により依然として先行き不透明な状況が続いています。2026年2月の有効求人倍率は1.19倍と前四半期からほぼ横ばいで推移するなど、当社を取り巻く求人環境に大きな変化は見られず、「エンジニア」領域においては依然として採用基準の高止まりなどの傾向が続いております。

このような状況において、当中間会計期間における当社の業績は、売上高はメディア情報事業、人材紹介事業の一般領域、新卒紹介事業が業績予想を下回って進捗したことから、全社の業績予想をやや下回って進捗いたしました。一方、IT派遣事業は業績予想通り、新卒メディア事業、人材紹介事業のミドル領域が業績予想を上回って進捗しております。利益面では、効率的かつ効果的な広告宣伝を実現したことで、全社的なコストの抑制を継続でき、業績予想を上回って推移いたしました。

以上の結果、当中間会計期間における売上高は、9,320,806千円（前年同期比3.0%増）、利益については、営業利益708,112千円（前年同期比12.3%増）、経常利益717,106千円（前年同期比12.0%増）、中間純利益489,832千円（前年同期比12.0%増）となりました。

#### <事業の種類別の業績>

当社は人材サービス事業の単一セグメントでありセグメント情報の記載を省略しているため、事業の種類別に記載しております。

#### ①メディア情報事業

メディア情報事業は、Web求人広告・適職フェア等の商品・サービスを展開しております。

当中間会計期間においては、引き続き販売価格の上昇や女性エンジニアの取り込み、関西エリアの拡販等を進めたことで、直販の営業の取引件数は堅調に推移したものの、一部の販売代理店においては取引件数の伸びが鈍化しました。なお、職種別の売上高は、「エンジニア」領域前年同期9.1%減、「営業」領域同9.3%増、「その他」領域同6.6%増、「女性」領域同1.9%増となりました。

以上の結果、当中間会計期間におけるメディア情報事業の売上高は2,959,237千円（前年同期比0.8%減）、事業別経常利益は421,105千円（前年同期比29.9%増）となりました。

#### ②人材紹介事業

人材紹介事業は、ご登録いただいた求職者の方に最適な求人案件をご紹介します登録型人材紹介を運営しております。営業・IT・販売・サービス等幅広い業種・職種をターゲットとする一般領域と専門職や管理職をターゲットとするミドル領域に分かれて事業運営を行っております。

当中間会計期間においては、採用基準の厳格化が継続する中、一般領域では、求職者と求人案件のマッチング精度向上に取り組んだ結果、成約率は改善傾向にあるものの、成約件数は減少いたしました。

ミドル領域では、新規の案件開拓を進めるとともに、高度なスキルや経験を持つ登録者の獲得に注力したことで、成約件数は堅調に推移しました。

以上の結果、当中間会計期間における人材紹介事業の売上高は1,414,271千円（前年同期比3.2%減）、事業別経常利益は99,968千円（前年同期比38.2%増）となりました。

#### ③新卒メディア事業

新卒メディア事業は、新卒者を対象とする就職イベント・情報誌等の商品・サービスを展開しております。

当中間会計期間においては、米国の関税動向など外部環境の変化を背景に、採用活動を慎重に進める企業が一部見られたものの、新規顧客の獲得を強化したことで取引社数が増加しました。

以上の結果、当中間会計期間における新卒メディア事業の売上高は357,930千円（前年同期比10.6%減）、事業別経常利益は91,405千円（前年同期比24.4%減）となりました。

## ④新卒紹介事業

新卒紹介事業は、ご登録いただいた学生の方に最適な新卒採用案件をご紹介する登録型新卒紹介を運営しております。

当中間会計期間においては、2027年度卒業予定学生の登録数および面談数は増加し、前事業年度の採用実績を踏まえた案件を中心に獲得を進めたものの、学生の内定承諾時期が後ろ倒しとなっており、成約件数の伸びは鈍化しました。

以上の結果、当中間会計期間における新卒紹介事業の売上高は63,300千円（前年同期比43.0%減）、事業別経常利益は△52,322千円（前年実績△2,279千円）となりました。

## ⑤IT派遣事業

IT派遣事業は、当社にご登録いただいた登録者の中から、求人企業の採用ニーズに最適な人材を派遣する一般労働者派遣を運営しております。なお、有期雇用派遣と無期雇用派遣に分かれて事業運営を行っております。

当中間会計期間においては、有期雇用派遣ではITエンジニアの登録者の獲得を強化するとともに、新規顧客の案件開拓と派遣スタッフに対する求人案件の提案数の増加を図りました。また、派遣スタッフに対するフォロー体制を強化したことで、案件終了件数の抑制にもつながり、稼働人数は堅調に推移しました。

無期雇用派遣では、採用決定したエンジニアが順調に稼働しており、またエンジニアの中途採用については、早期の黒字化に向けてエンジニアの中途採用を当初より強化するとともに、エンジニアの退職率も抑制することに成功しました。引き続きエンジニアの採用を強化するとともに、求人案件の開拓を強化することで、稼働人数の増加を目指して参ります。

以上の結果、当中間会計期間におけるIT派遣事業の売上高は4,526,067千円（前年同期比10.5%増）、事業別経常利益は156,948千円（前年同期比25.8%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産

## (流動資産)

当中間会計期間末における流動資産の残高は5,431,599千円となり、前事業年度末に比べ221,335千円減少いたしました。これは主に現金及び預金が306,845千円減少、売掛金が25,116千円増加、その他が68,307千円増加したことによるものであります。

## (固定資産)

当中間会計期間末における固定資産の残高は2,036,577千円となり、前事業年度末に比べ44,008千円減少いたしました。これは主に有形固定資産が19,397千円減少、無形固定資産が48,035千円減少、投資その他の資産が23,242千円増加したことによるものであります。

## (流動負債)

当中間会計期間末における流動負債の残高は2,515,713千円となり、前事業年度末に比べ303,909千円減少いたしました。これは主に未払費用が16,520千円減少、契約負債が49,357千円減少、未払消費税等が137,637千円減少、未払法人税等が85,032千円減少したことによるものであります。

## (固定負債)

当中間会計期間末における固定負債の残高は298,017千円となり、前事業年度末に比べ12,536千円増加いたしました。これは主に退職給付引当金が10,698千円増加したことによるものであります。

## (純資産)

当中間会計期間末における純資産の残高は4,654,446千円となり、前事業年度末に比べ26,028千円増加いたしました。これは主にその他資本剰余金が31,227千円増加し、利益剰余金が36,326千円減少し、自己株式が31,127千円減少したことによるものであります。

②キャッシュフローの状況

当中間会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、3,528,277千円となりました。当中間会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当中間会計期間の営業活動の結果得られた資金は、382,227千円（前年同期比376,994千円の収入減）でありました。これは、税引前中間純利益を715,847千円計上し、減価償却費が240,492千円、未払消費税等の増減額が△137,637千円、法人税等の支払額が300,893千円あったこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当中間会計期間の投資活動の結果使用した資金は、164,084千円（前年同期比7,477千円の支出減）でありました。これは、無形固定資産の取得による支出が160,422千円あったこと等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当中間会計期間の財務活動の結果使用した資金は、524,989千円（前年同期比55,229千円の支出増）でありました。これは、配当金の支払額が524,989千円あったことによるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

当中間会計期間においては、各段階利益が業績予想を上回って推移していることから、2025年11月12日に公表いたしました2026年9月期の配当予想を修正いたしました。配当予想については本日公表の「配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご参照ください。なお、2026年9月期の業績予想につきましては、2025年11月12日に公表いたしました業績予想から変更はございません。

## 2. 中間財務諸表及び主な注記

## (1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年9月30日)	当中間会計期間 (2026年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,935,123	3,628,277
売掛金	1,528,766	1,553,883
仕掛品	6,726	—
その他	188,434	256,742
貸倒引当金	△6,115	△7,303
流動資産合計	5,652,935	5,431,599
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	230,227	214,835
その他（純額）	23,755	19,749
有形固定資産合計	253,983	234,585
無形固定資産		
ソフトウェア	1,127,875	1,067,982
その他	11,198	23,056
無形固定資産合計	1,139,074	1,091,039
投資その他の資産		
繰延税金資産	268,159	262,892
敷金及び保証金	326,918	324,017
その他	92,548	124,381
貸倒引当金	△98	△340
投資その他の資産合計	687,527	710,951
固定資産合計	2,080,585	2,036,577
資産合計	7,733,520	7,468,176

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年9月30日)	当中間会計期間 (2026年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,999	2,770
未払金	529,339	526,832
未払費用	886,022	869,501
契約負債	404,116	354,759
未払消費税等	369,884	232,247
未払法人税等	340,311	255,279
賞与引当金	236,093	242,026
その他	50,853	32,295
流動負債合計	2,819,622	2,515,713
固定負債		
退職給付引当金	261,284	271,982
その他の引当金	4,071	5,877
資産除去債務	20,124	20,156
固定負債合計	285,480	298,017
負債合計	3,105,102	2,813,730
純資産の部		
株主資本		
資本金	558,663	558,663
資本剰余金		
資本準備金	211,310	211,310
その他資本剰余金	16,865	48,093
資本剰余金合計	228,176	259,403
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	4,135,344	4,099,018
利益剰余金合計	4,135,344	4,099,018
自己株式	△293,765	△262,638
株主資本合計	4,628,417	4,654,446
純資産合計	4,628,417	4,654,446
負債純資産合計	7,733,520	7,468,176

## (2) 中間損益計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)	当中間会計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)
売上高	9,052,151	9,320,806
売上原価	4,338,089	4,614,057
売上総利益	4,714,062	4,706,748
販売費及び一般管理費	4,083,542	3,998,636
営業利益	630,519	708,112
営業外収益		
受取利息	1,082	3,520
解約手数料	4,930	4,523
受取補償金	3,432	3,432
その他	703	597
営業外収益合計	10,148	12,072
営業外費用		
その他	623	3,078
営業外費用合計	623	3,078
経常利益	640,044	717,106
特別損失		
固定資産除却損	171	1,258
特別損失合計	171	1,258
税引前中間純利益	639,873	715,847
法人税、住民税及び事業税	202,967	220,748
法人税等調整額	△269	5,266
法人税等合計	202,698	226,015
中間純利益	437,175	489,832

## (3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)	当中間会計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前中間純利益	639,873	715,847
減価償却費	258,975	240,492
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1,803	4,690
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1,041	5,933
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	17,212	10,698
受取利息	△1,082	△3,520
固定資産除却損	171	1,258
売上債権の増減額 (△は増加)	△80,826	△28,860
棚卸資産の増減額 (△は増加)	7,849	6,343
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,952	△228
未払金の増減額 (△は減少)	18,111	△12,741
未払費用の増減額 (△は減少)	31,282	△16,520
契約負債の増減額 (△は減少)	△10,227	△49,357
未払消費税等の増減額 (△は減少)	150,899	△137,637
その他	△30,931	△56,797
小計	1,000,117	679,600
利息及び配当金の受取額	1,082	3,520
法人税等の支払額	△241,977	△300,893
営業活動によるキャッシュ・フロー	759,222	382,227
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△773	△3,661
無形固定資産の取得による支出	△170,788	△160,422
投資活動によるキャッシュ・フロー	△171,561	△164,084
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△469,759	△524,989
財務活動によるキャッシュ・フロー	△469,759	△524,989
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	117,900	△306,845
現金及び現金同等物の期首残高	2,612,308	3,835,123
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,730,208	3,528,277

（4）中間財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2026年1月9日開催の取締役会の決議に基づき、譲渡制限付株式報酬として自己株式25,042株の処分を行い、当中間会計期間において自己株式が31,127千円減少、その他資本剰余金31,227千円増加しております。この結果、当中間会計期間末において自己株式が262,638千円、その他資本剰余金が48,093千円となっております。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

I 前中間会計期間（自 2024年10月1日 至 2025年3月31日）

当社は、人材サービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当中間会計期間（自 2025年10月1日 至 2026年3月31日）

当社は、人材サービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。